

飲料ビジネスの未来を創造します

Coca-Cola **West**

コカ・コーラウエストグループ

CSRレポート2009

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2009



Coca-Cola West コカ・コーラウエスト(株)

- **販売機能**
 コカ・コーラウエストジャパンセールス(株)
 西日本ビバレッジ(株)
 関西ビバレッジサービス(株)
 株ネスコ
 株カディアック
- **販売機器サービス機能**
 コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株)
- **物流機能**
 コカ・コーラウエストロジスティクス(株)
- **製造機能**
 コカ・コーラウエストプロダクツ(株)
 滋賀工場/京都工場/明石工場/本郷工場/鳥栖工場/基山工場
 コカ・コーラウエスト大山プロダクツ(株)
 大山工場
- **その他の関係会社(4社)**
- **南九州コカ・コーラグループ**

[報告対象会社14社] (南九州コカ・コーラグループ除く)
 2009年1月1日現在

■ **編集方針**

コカ・コーラウエストグループの2008年におけるステークホルダーのみなさまとの取組み、社会・環境への取組みについて、具体的な企業活動に即して簡潔にわかりやすくご紹介しています。

■ **対象期間**

2008年1月1日～2008年12月31日

■ **参考ガイドライン**

GRI「サステナビリティレポートガイドライン 2006」
 環境省「環境報告ガイドライン 2007年版」

■ **発行**

2009年3月(次回発行は2010年3月予定)

■ **会社概要**

商号	コカ・コーラウエスト株式会社 (英文: COCA-COLA WEST COMPANY, LIMITED)
事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売
設立	1960年(昭和35年)12月20日
決算期	12月
資本金	15,231百万円
代表者	代表取締役 社長兼CEO 末吉 紀雄
売上高	395,556百万円(連結) ※2008年12月期
社員数	8,197名(連結) ※2009年1月1日現在
上場取引所	株式会社東京証券取引所(市場第一部) 株式会社大阪証券取引所(市場第一部) 証券会員制法人 福岡証券取引所

●本レポートへのご意見・ご感想は、下記までお聞かせください。

**コカ・コーラウエスト株式会社
 CSR推進部**

福岡市博多区住吉一丁目2番25号
 キャナルシティ・ビジネスセンタービル5階
 【TEL】092-283-5788 【FAX】092-283-5729
<http://www.ccwest.co.jp/>

トップメッセージ	3
特集 2008	大切にしたい、 社会や環境とのつながり 5
信頼される企業を目指して	11
CSRを支える取組み	コーポレート・ガバナンス/ リスク管理 13
	コンプライアンス 14
ステークホルダーのみなさまとの取組み	お客さまとともに 15
	お得意さまとともに 19
	お取引先とともに 20
	社員とともに 21
	株主・投資家のみなさまとともに 23
社会・環境への取組み	環境基本理念・行動指針 25
	環境マネジメント 26
	環境負荷 27
	環境会計 28
	地球温暖化対策 29
	循環型社会の実現 33
	水資源リスク管理 35
	第三者審査 36
地域社会貢献活動 37	
地域環境推進活動 38	

飲料ビジネスの未来を創造します

「コカ・コーラウエスト株式会社」が発足いたしました

2009年1月1日、コカ・コーラウエストホールディングス株式会社、コカ・コーラウエストジャパン株式会社、近畿コカ・コーラボトリング株式会社および三笠コカ・コーラボトリング株式会社が合併し、当社「コカ・コーラウエスト株式会社」が発足いたしました。この合併により、全社員が一丸となって、より一層経営基盤の強化をはかり、企業としての社会的責任を果たします。

CSRレポートを発行いたしました

コカ・コーラウエストグループが責任ある「企業市民」として、CSR活動を積極的に取り組んでいることをご理解いただくため、従来の「環境・社会報告書」から「CSRレポート」として新たにスタートすることにいたしました。

飲料ビジネスの未来を創造します

コカ・コーラウエストグループは飲料ビジネスを通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指すとともに、社会からも成長が望まれる企業であることを目指しています。そのため、飲料ビジネスという、日々の生活に根差した事業を行い、「お客さま」「お得意さま」「お取引先」「株主・投資家のみなさま」「社員」「地域社会」等の幅広いステークホルダーのみなさまに高い価値を提供し続けるとともに、常に自らの活動を見つめ直し、誠実な経営に努めています。

よりよい商品・サービスを提供します

ここ数年、食品関連の不祥事件が相次ぎ、食品の品質や安全性に対する消費者の信頼が揺らぐ中、コカ・コーラウエストグループはこれまで以上にお客さまに安全・安心でフレッシュな商品をお飲みいただくための万全の品質管理体制の整備に努め、よりよい商品やサービスを提供し続けています。

社員一人ひとりが会社を支えています

ステークホルダーのみなさまとコカ・コーラウエストグループをつないでいるのは社員です。その社員一人ひとりが働きがいを持って企業活動に取り組めるよう、いきいきと働ける会社づくりを進めています。

社会・環境とのつながりを大切にします

コカ・コーラウエストグループは、社会や環境とのつながりも経営理念のひとつと位置づけ、多様な活動を行っています。社会に根差した企業市民として行っている地域社会貢献活動は、特別支援学校への教材贈呈のように1993年から継続して行っているものもあり、社会とより密接な関係を築く一助となっています。また、最重要課題のひとつと認識している地球環境保全につきましては、2008年にコカ・コーラウエストグループ全体の温室効果ガス削減計画を策定し、グループを挙げて活動を推進しています。さらに、2008年4月に稼働を開始した廃棄自動販売機リサイクルセンターは、飲料メーカーとしては初めて、使用済自動販売機の処理を専門的に行っています。従来から実施している、北九州さわやかリサイクルセンターでの空容器再資源化の自社処理と合わせ、循環型社会の実現を目指し、一步一步前進しています。

このCSRレポートで紙面の都合により掲載できなかった取組みにつきましては、当社ホームページにおいて各種イベント情報も含めた最新の情報を開示しておりますので、是非あわせてご高覧いただきたいと思います。みなさまのさらなるご理解、ご指導を賜りますようお願いいたします。



代表取締役 社長兼CEO

末吉紀雄

大切にしたい、社会や環境とのつながり

コカ・コーラウエストグループは、経営理念の4つの柱のひとつに、「社会や環境とのつながりを育みます」を掲げています。

地域に根差し、育まれてきた企業として、地域のみなさまとともにさらなる発展と成長を続けていきたい…

そんな思いを形にした息の長い企業活動を続けています。

社会とともに、発展しつづけるため私たちにできること

》小学校200校に一輪車2,000台を贈呈

コカ・コーラウエストグループは、常に社会の立場で考え行動する「企業市民」を目指し、さまざまな地域社会貢献活動を展開しています。

「地域とともに」を基本姿勢として、「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や地域とのより密接なコミュニケーションを実施しています。

スポーツ活動支援の一例として、文部科学省の学習指導要領にも取り入れられている一輪車を教材用に、毎年、小学校に贈呈しています。2008年には小学校200校に一輪車2,000台を贈呈しました。贈呈式のセレモニーでは、子どもたちがいろいろな「技」を披露してくれました。子どもたちの健全育成を支援するため、地域社会の一員としての役割を果たし、継続した活動を展開いたします。



》小学校15校でビオトープづくりを支援

コカ・コーラウエストグループは「人も環境も、さわやかに。」をスローガンに、地球環境保全を経営の最重要課題のひとつと認識し、さまざまな地域環境推進活動を通して地域社会に貢献しています。

中でも、環境教育支援活動は内容や実施地域も多岐にわたり、毎年大勢の子どもたちが参加しています。

2002年より環境教育支援の一環として行っている小学校を対象にしたビオトープづくりは、自然環境の素晴らしさや大切さを学ぶことを目的としています。子どもたちが自ら考えた設計図をもとに、先生や保護者や地域の人たちと一緒に生息できる場所を半年かけて手づくりで完成させます。2008年は小学校15校で実施し、累計64校となりました。ビオトープづくりを通じて子どもたちの豊かな感性を育むとともに、学校と地域社会の連携をはかる場を提供したいと考えています。



かけがえのない大切な資源を守るため私たちにできること

水資源涵養林保全活動の取組み拡大

コカ・コーラウエストグループはかけがえのない大切な資源である水を使用する企業として、水資源保全に取組むことは社会的責任と考えています。既に契約を締結している佐賀県鳥栖市、鳥取県伯耆町、京都府宇治田原町、滋賀県愛荘町に加え、2008年には広島県三原市、兵庫県小野市の自治体と森林計17haを対象に共同管理契約を締結いたしました。計6カ所62haの森林は「さわやか自然の森」と名づけ、社員とその家族、ステークホルダーのみなさまを対象とした森林保全活動や自然体験学習を通じて積極的な水資源涵養林の保全に取り組んでいます。



「ひろしま さわやか自然の森」協定書に調印



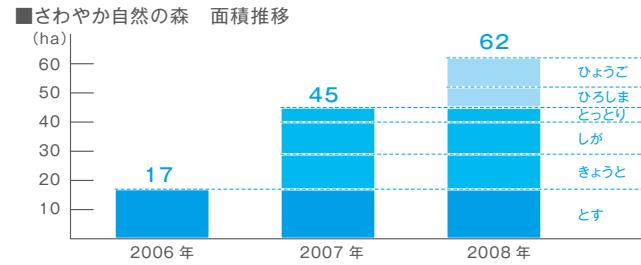
「ひょうご さわやか自然の森」協定書に調印



親子での間伐作業



「ひょうご さわやか自然の森」看板



コカ・コーラウエストグループの活動により森林保全活動の高まりを期待します

三原市経済部次長兼農林水産課長 池田 幸一 様

私たちは森林から多くの恵みを受けていますが、身近であった森林も生活様式の変化などにより、森林の手入れがおろそかになってきています。「ひろしま さわやか自然の森」の活動を通じて森林保全の機運が高まるものと期待しております。



コカ・コーラウエストグループとともに森林保全を推進していきます

兵庫県森林組合連合会 業務課 技師 稲月 秀昭 様

2008年末に「ひょうご さわやか自然の森」にて森林保全活動のお手伝いをさせていただき、参加者の環境への関心が高いと感じました。今後もコカ・コーラウエストグループが行う森林保全活動のサポートをさせていただきます。



実感したのは、自然の大切さ

コカ・コーラウエスト(株) 唐津支店 大場 なつき
まず感じたことは、自然を守るということがどれだけ大変で厳しいものかということでした。一人の力では難しい作業でもみんなで協力して造り上げることの必要性を感じました。普段の生活で何気なく使っている紙などの限られた資源を節約するなど、公私ともにさまざまな環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。

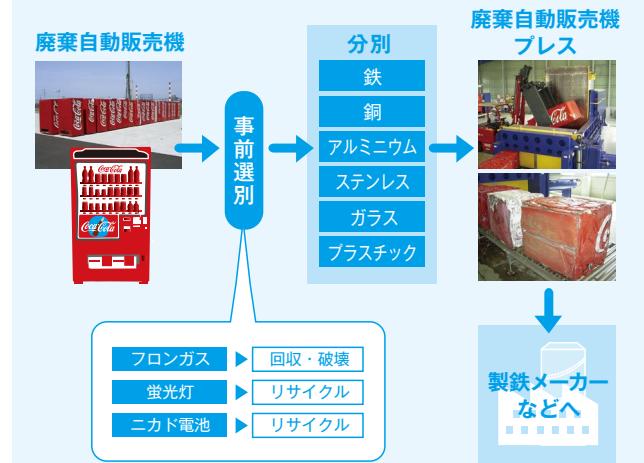
廃棄自動販売機リサイクル始動

2008年4月、自動販売機の廃棄処理を専門に行う施設を北九州エコタウン(北九州市若松区響町)内に建設し、本格稼働を開始しました。この「廃棄自動販売機リサイクルセンター」の活用によって、これまでは民間の処理施設に委託していた使用済の自動販売機を自社で解体処理し、素材ごとに分別・リサイクルすることで資源の有効活用をさらに推進することが可能となりました。同施設規模の自社廃棄処理施設を稼働させることは、飲料メーカーとしては初めてのことです。

将来は年間16,000台のリサイクル処理を予定しています。



廃棄自動販売機リサイクルフロー



廃棄台数とフロンガス回収量

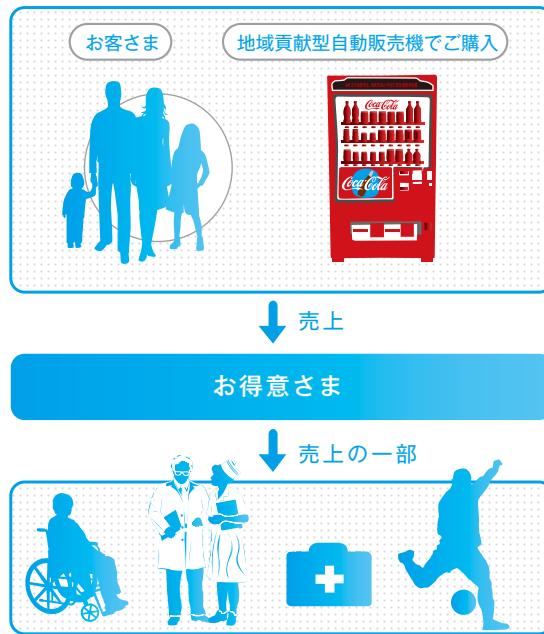
	2006年	2007年	2008年
廃棄台数(台)	31,445	30,915	29,313
内、リサイクルセンター 廃棄台数(台)	—	—	8,033
フロンガス回収量(kg)	6,698	6,426	6,197
内、リサイクルセンター 回収量(kg)	—	—	2,238

地域社会のため事業活動を通じて私たちにできること

》「支援自動販売機」設置

コカ・コーラウエストグループは、地域のみなさまとともに地域社会を支援する「支援自動販売機」を設置しています。「支援自動販売機」には、「地域貢献型自動販売機」や「災害対応型自動販売機」などがあり、自動販売機を通じて地域社会の発展や地域のみなさまの安全・安心な暮らしづくりに取り組んでいます。

地域貢献型自動販売機の仕組み



》地域社会を支援する「地域貢献型自動販売機」

地域貢献型自動販売機は、自動販売機を「みなさまからの募金箱」という考え方のもと、売上の一部を地域の社会貢献事業やイベント、スポーツ団体の活動資金として還元し、お客さまとともに地域社会を支援していく活動です。

2001年に飲料業界で初めて導入した地域貢献型自動販売機も2008年には411台導入され、累計台数は1,700台を超えました。また台数が増えるだけでなく、その目的もどんどん新しいものが増え、その役割は多岐にわたります。

一例として、2008年10月には、トヨタ部品福岡共販株式会社様に13台の地域貢献型自動販売機が設置されました。売上の一部は、地域の交通安全協会へ寄付され、チャイルドシートの購入や交通安全運動の活動資金に充てられます。



地域貢献型自動販売機



全社員による地域に密着した社会貢献

トヨタ部品福岡共販株式会社
総務グループ グループリーダー 次長 毛利 典嗣 様
当社40周年の記念事業の一環として、全社員で社会に貢献できる活動がないか模索していたところ、コカ・コーラから「地域貢献型自動販売機」についてのご提案がありました。設置した各職場の社員は社会貢献への関心が高まっており、今後も地域に密着した社会貢献活動に取り組むと考えています。

》緊急時にも安心な「災害対応型自動販売機」

災害対応型自動販売機は、大地震などでライフラインが被害を受けた場合に、自治体などからの操作により、清涼飲料水を無償で提供できるシステムです。電光掲示板機能も搭載し、災害時の非難場所、地図情報をリアルタイムに確認できます。2008年には10台、これまで累計147台を設置し、地域のみなさまの安全・安心な暮らしに貢献しています。

もちろん災害は起こってほしくはありませんが、もし災害になっても地域のみなさまを支援できるよう、日頃から準備を進めています。

災害時の電光掲示板機能によるメッセージ (イメージ)



災害対応型自動販売機 (福岡県大川市)

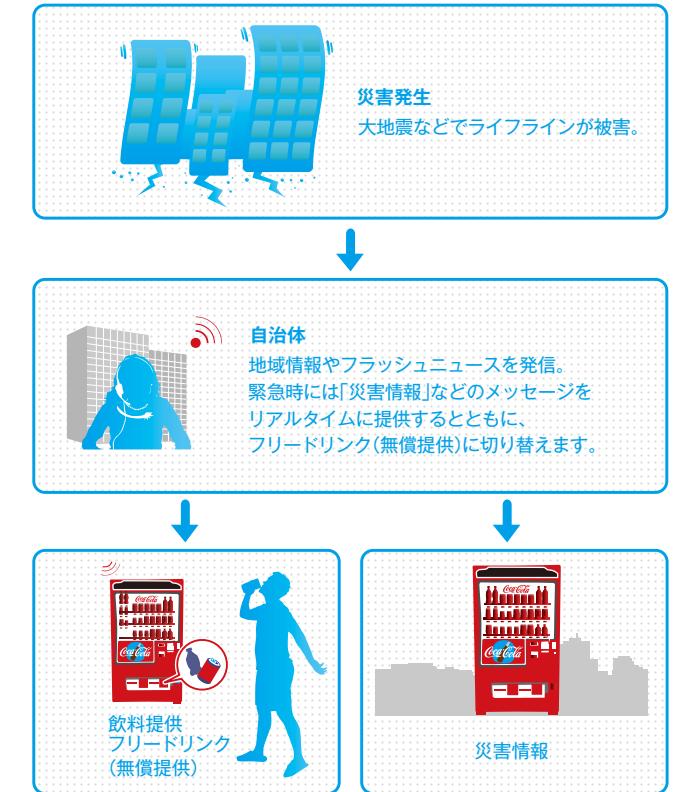
自動販売機も地域密着でありたい

コカ・コーラウエスト(株) 地域貢献販機推進課 田中 志保

支援自動販売機は、売上の一部を社会貢献事業の活動資金として還元したり、いざという時に地域のみなさまに災害情報をお伝えするなどの“想い”を込めて設置しています。こうした“想い”をお得意さまとともに、地域のみなさまに伝えるお手伝いができることに毎日とてもやりがいを感じています。



災害対応型自動販売機の仕組み



信頼される企業を目指して

コカ・コーラウエストグループはすべてのステークホルダーのみなさまから
信頼される企業を目指してCSR活動に取り組んでいます。

経営理念に基づく私たちの日々の活動を通じたCSRの取り組みをご報告いたします。

Coca-Cola West

— コカ・コーラウエストグループ経営理念 —

飲料ビジネスの未来を創造します

私たちは、

- ❖お客さまに喜んでいただける商品・サービスをお届けします
- ❖社員一人ひとりの働きがいと生活を大切にします
- ❖継続的な成長により株主の信頼や期待に応えます
- ❖社会や環境とのつながりを育みます

CSRを支える取り組み

13 ページ

コーポレート・ガバナンス／リスク管理
コンプライアンス



ステークホルダーのみなさまとの取り組み

15 ページ

お客さまとともに
お得意さまとともに
お取引先とともに
社員とともに
株主・投資家のみなさまとともに



社会・環境への取り組み

25 ページ

環境基本理念・行動指針
環境マネジメント
環境負荷・環境会計
地球温暖化対策
循環型社会の実現
水資源リスク管理
第三者審査
地域社会貢献活動・地域環境推進活動



コーポレート・ガバナンス／リスク管理

コカ・コーラウエストグループは経営の効率性・透明性を向上させるために、経営諮問委員会を設定するなどコーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。また、リスクを正確に認識し発生しないように予防推進するとともに、発生した場合はリスクの極小化をはかります。

●コーポレート・ガバナンス

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の効率性・透明性を向上させ、コカ・コーラウエストグループの企業価値ひいては株主共同の利益の増大に努めることです。当社は、監査役設置会社を採用しており、意思決定および経営監督機能と業務執行機能を分離すべく、1999年3月に取締役会の改革および執行役員制度の導入を行っています。また、2007年4月には、グループ経営の効率化と意思決定の迅速化等をはかるべく、コカ・コーラウエストグループ執行役員制度の導入を行っています。なお、2006年3月に、事業年度における取締役の経営責任を明確化するとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる機動的な経営体制を確立するため、取締役の任期を2年から1年に短縮しています。また、当社は、2006年7月に、経営の効率性および透明性を向上させ、株主価値を増大させることを目的に、有識者から適切なアドバイスを受けるための取締役会の諮問機関として、経営諮問委員会を設定しています。当委員会の諮問事項は、取締役・監査役候補者に関する事項、役員の報酬等に関する事項ならびにグループの経営全般における重要戦略等に関する事項等とされています。

●リスク管理

コカ・コーラウエストグループはリスクの顕在化を未然に防止し、またリスクが顕在化し危機に転化した場合に社会および経営への影響を最小限に止める「コカ・コーラウエストグループ危機発生時体制」をグループ経営体制に沿って構築しています。またグループ共通の「リスク管理規定」を制定するとともに、「リスク予防推進マネジメント」をグループ全体で導入し、潜在リスク要因に対する予防活動を展開しています。

■コカ・コーラウエストグループ危機発生時体制



※IAT (Initial Assessment Team)

コンプライアンス

経営理念を実現するために社員としての行動の基本を示すものが「コカ・コーラウエストグループ行動規範」です。この行動規範をコンプライアンス活動の中核と位置づけ、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指し、コンプライアンス確立のためのさまざまな取組みを積極的に実施しています。

コカ・コーラウエストグループ行動規範

私たちは、すべての法令を遵守するとともに、社会的良識をもって誠実に行動し、すべてのステークホルダーからの信頼を得ることで経営理念を実現します。

●お客さまに対して

私たちは、常にお客さまの立場に立って行動し、お客さまのご満足を追求します。

●お得意さまに対して

私たちは、お得意さまをお客さまのご満足を実現するためのパートナーとして大切に、お互いの繁栄を目指します。

●お取引先に対して

私たちは、お取引先との公正で対等な取引を通じ、お互いの共存をはかります。

●社員に対して(会社と社員・社員間)

私たちは、職場のすべての人たちがいきいきと働くことができるように、お互いの考え方や立場を尊重します。

●株主に対して

私たちは、健全かつ透明性のある経営に努め、企業価値を高めます。

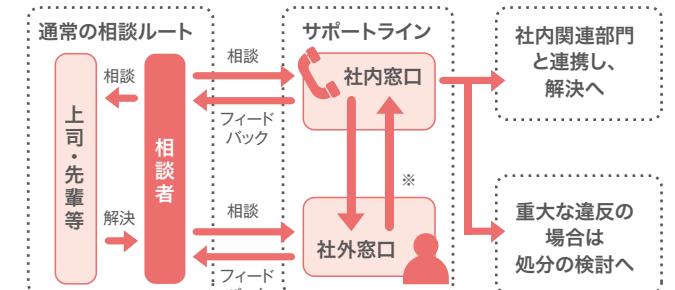
●社会に対して

私たちは、企業市民として社会的な責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献します。

●コンプライアンスの取組み

「当たり前のことを当たり前」実践できる組織風土を醸成し、健全な会社づくりを進めるために、「コカ・コーラウエストグループコンプライアンスサポートライン」を設置し、社内担当者が務める社内窓口と外部に委託する社外窓口の2カ所の窓口体制にて運用しています。また、社員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上と実践に向け、教育や啓発を継続して行っています。

■コンプライアンスサポートラインのフロー図



※本人の承諾なしに、氏名の開示は行いません。



お客さまとともに

品質保証

コカ・コーラウエストグループは「品質」を最優先事項と位置づけ、常に安全・安心でフレッシュな商品を提供することで、お客さまに信頼していただけるよう、積極的な改善に取り組んでいます。

最高品質への取組み

工場からお客さまに商品をお届けするための全ての過程で、最高の品質を維持するためにさまざまな活動を展開しています。



工場での取組み

品質保証の国際規格であるISO9001の認証をいち早く取得し、厳格な品質管理のもとで製造しています。

また、コカ・コーラシステムが独自に定めた世界基準のTCCMS(コカ・コーラマネジメントシステム)を導入し、HACCPによる管理などを盛り込み、

お客さまに安心して飲んでいただける商品づくりを行っています。

HACCP：1960年代に、米国で宇宙食の安全性を確保するため開発された食品衛生管理の方式



ISO9001認証登録証



コカ・コーラマネジメントシステム認証登録証

● 品質基準

工場、倉庫、支店、店舗・自動販売機に至るすべての過程において、法規制を遵守するのはもちろん、独自の厳しい品質基準を定め、高品質のものだけをお客さまにお届けするよう、社員一人ひとりが責任を持って活動しています。



● 管理体制

信頼される企業であり続けるために、万一のリスクに備えた管理体制も重要な要素のひとつと考えています。リスクマネジメント(危機管理)、トレーサビリティ(追跡管理)の強化をはかり、リスク発生時に迅速な対応が出来る体制を整えています。



安全で安心していただける製品をお届けしたい

コカ・コーラウエストプロダクツ(株)本郷工場 製造二課 福米 浩之 生産活動において、私が気をつけていることは、ペットボトルの滅菌・洗浄工程におけるノズル状態の確認と製品液配管周りの漏れ確認です。トラブルの早期発見がお客さまに安全で安心していただける製品をお届けできると信じ、これからも続けていきます。



● 鮮度管理

倉庫での滞留期間を短くし、一日でも早くお客さまの手に取っていただける鮮度管理体制づくりに努めています。店頭商品は販売量に応じた納品を、自動販売機においては、販売担当者が適切な庫内管理を実施しています。



● 改善活動

お客さまからいただく「声」をフィードバックすることで、最高品質の商品をお届けするための原動力としています。いただいた「声」から私たちの日々の活動を見直し、絶えず新しい改善に取り組んでいます。



お客さまとともに

お客さまご満足

コカ・コーラウエストグループはグループ統一の基本方針のもと、さらなるお客さまのご満足に取り組んでいます。

お客さまご満足のための基本方針

- 私たちコカ・コーラウエストグループは、お客さまのご満足実現を、最優先すべき判断基準として位置づけ、企業活動を行っています。
- 私たちは、お客さまの視点に立ち、お客さまの声を積極的に企業活動に活かすことで、常に「おいしさ」「便利さ」「楽しさ」「安心」を提供し続けると共に、さらなるお客さまのご満足を徹底して追求します。

お客さまご満足のための行動指針

- お客さまのお問合せ・ご指摘には、迅速かつ適切に誠意をもって対応します。
- お客さまに安心して飲んでいただける、安全な商品を提供します。
- お客さまの声を積極的にお聞きし、ニーズに合った新鮮で高品質の商品・サービスを提供し、より高いご満足が得られるよう、課題の解決、商品・サービスの改善に努めます。
- 社会に対する責任として、関係法令及び社内の自主基準を遵守いたします。



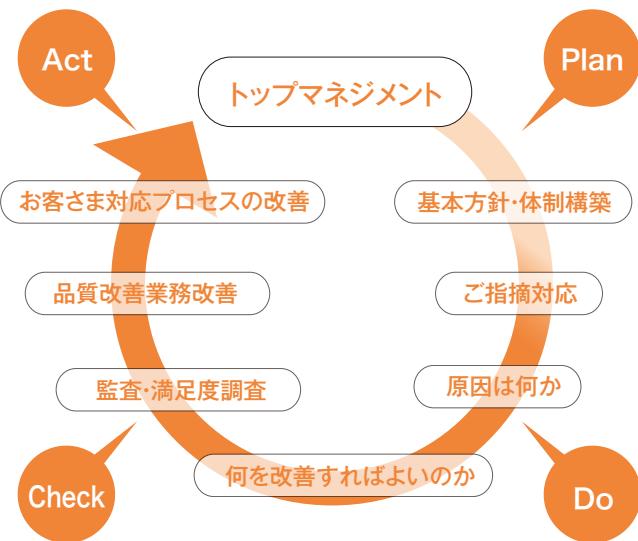
心がけているのは、お客さま基点での対応

コカ・コーラウエスト販売機器サービス(株)福岡コールセンター 山本 浩美
電話対応では常にお客さま基点での対応を心がけています。お客さまからのご指摘、ご要望を正確に聴き取り対応した際に、お客さまから「ありがとう」と言ってもらえるのが最高の喜びです。ひとつでも多くの「ありがとう」の声をいただけるよう、これからも業務品質の向上を目指します。

●お客さまご満足向上の取組み

コカ・コーラウエストグループでは、グループ統一の基本方針のもと、JISQ10002のPDCAサイクルを回し、さらなるお客さまのご満足と企業価値の向上を目指します。

■JISQ10002 PDCAサイクル



【JISQ10002】
消費者保護を目的とした国際規格「ISO10002」に準拠する形で、2005年6月に制定された苦情対応に対する規格

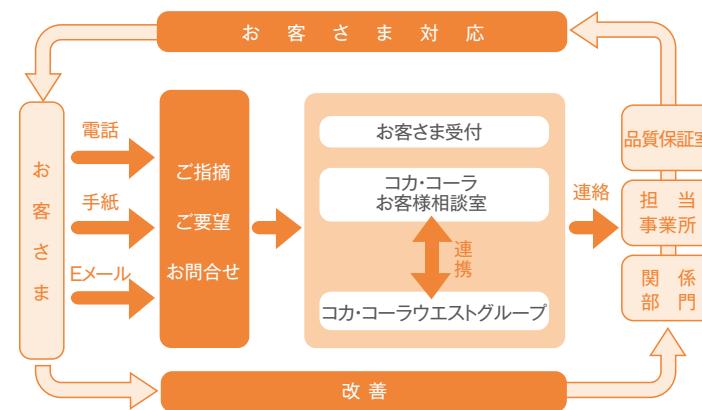
●お客さま窓口の取組み

あらゆるお客さまからのご指摘やご要望、お問合せに対し、グループ全体で迅速かつ適切に対応できる体制を構築しています。単にお客さまの声にお応えするのではなく、コミュニケーションの最良の機会として積極的な対応を心がけています。



販売機器の故障受付を365日行い、休日中のトラブルにも迅速に対応しています。

■お客さま対応フロー図



「お客さま基点」での活動事例紹介

お客さまと接点がある社員を通じてお寄せいただいた「お客さまの声」への対応事例をご紹介します。

お客さまの声

高齢者や子どもでは、ペットボトルのふたを開けにくいので、ふたを開けやすい工夫ができませんでしょうか？

活動内容

ふたを開けやすいものに変えることは、販売・流通時の品質保持などの観点から困難でしたが、「お客さまの声」をいただいた益田支店では販促グッズとして作成した開栓補助具を自動販売機に取り付けました。

お客さまからの反応

多くのお客さまから便利になったとご満足の声をいただきました。特に、子どもたちはふたを開けることを楽しんでるようです。



自動販売機前面に開栓補助具の使い方をわかりやすく表示しました。



開栓補助具を使いやすくするため糸で吊り下げる工夫もしています。



今後もお客さまのご意見を参考に、よりよい商品やサービスをご提供できるような体制づくりを進めてまいります。

お得意さまとともに

コカ・コーラウエストグループはお得意さまの販売形態ごとに専門体制を整え、お客さまのニーズに応じて、お得意さまと協働できめ細やかな活動を行っています。

ベンディング

ベンディングチャンネルは、自動販売機を通じてお客さまに商品をお届けするマーケットを担当しています。

自動販売機は時代のニーズに合わせて地域貢献型、災害対応型、環境配慮型やキャッシュレス型などを導入し、質の高いサービスを提供しています。また、商品の鮮度、品質を重視し、オペレーション担当者が在庫管理や販売温度の確認、商品取り出し口の清掃なども常に行っています。



チェーンストア

チェーンストアチャンネルは、スーパーマーケット、ディスカウントストアやホームセンターなどの量販マーケットを担当しています。市場成長が著しくお客さまニーズが多様化していることから、お客さまの来店目的や購買動機に基づきお得意さま分類を行い、それぞれの特性に応じた最適な商品やパッケージの品揃え、販売促進策の提案を行うとともに、各店舗を定期的に訪問して商品の賞味期限を確認し、品質管理に努めています。



リテール・フードサービス

●リテール

リテールチャンネルは、業務酒店、売店、交通マーケットなどを中心とする一般手売りマーケットを担当しています。お得意さまを通じて、常にお客さまに喜んでいただけるお店づくりをお手伝いするため、お客さまのニーズに沿った商品を取り揃え、各店舗に最適な販売機材の提案、季節やメディアに連動した広告物の提供等を行っています。



●フードサービス

フードサービスチャンネルは、ファーストフード、映画館、スポーツ施設、ファミリーレストランなどを中心とするマーケットを担当しています。お得意さまを定期的に訪問し、お客さまのニーズに沿ったメニュー提案を実施するとともに、販売機材のメンテナンス、衛生管理も行っています。



お取引先とともに

コカ・コーラウエストグループの事業活動はお取引先の協力と支援を得てはじめて成り立っています。すべてのお取引先との信頼関係を築き、良きパートナーとしてお互いの共存をはかります。

●購買の基本原則を制定

2008年はコカ・コーラウエストグループにおける購買の基本原則を制定し、調達業務を行うにあたっての基本姿勢・活動指針、守るべきルール、行ってはならない行為等を遵守しています。また、同時にグリーン購入実施要領を制定し、環境保全を目的に、環境に配慮した購買品を可能な限り優先的に購入し、循環型社会形成に向けた取組みを推進しています。



コカ・コーラウエストグループ購買基本方針

1. 公正かつ透明性の高い購買取引
購買取引を行うにあたっては、登録されたお取引先に対して平等な機会を提供し、公正にこれを取扱います。お取引先の選定には、品質・価格・納期・安定供給力・信頼性の観点から、公正に行います。
2. 経済合理性(適正な品質・数量・価格・納期)に基づく購買取引
購買取引を行うにあたっては、経営活動に必要な物品・役務等の購買品を必要とする所屬と購買を担当する所屬の権限と責任のもと、適正な品質・数量・価格・納期等の観点から決定し行います。
3. 関係法規の遵守と機密保持
購買取引を行うにあたっては、関係する諸法規を遵守します。お取引先から得た情報は、厳守事項として慎重に管理し、お取引先の承諾がないまま第三者へは開示しません。
4. 環境への配慮
責任ある企業市民として、環境保全に配慮した購買取引を推進していきます。

社員とともに

コカ・コーラウエストグループの発展を支える社員がやりがいと働きがいをもって、いきいきと働ける会社づくりを進めています。

コカ・コーラウエストグループ人事マネジメントの基本方針

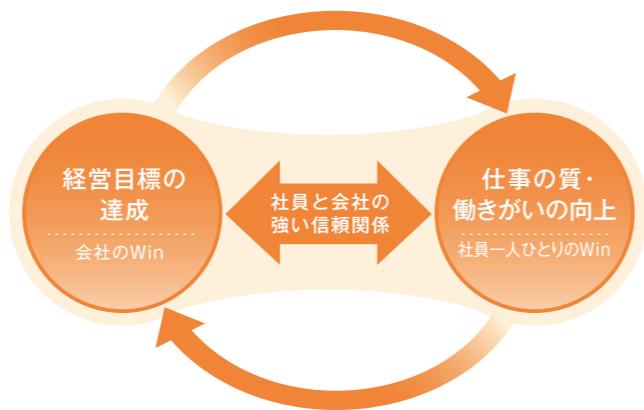
仕事を通じて、「社員のやる気を引き出し」「社員のやりがいを高め」「社員の充実した生活を支援する」
そのために

- チャレンジし、成長しようとする
個人の能力開発と発揮の機会を会社は提供します
- 個人の意欲と多様性を尊重し、
属性に抛らない人材の活用を行います
- 役割や成果、能力を正しく評価し、適切な処遇で報います
- 仕事とプライベートを両立できるようにし、
安心して仕事に取り組めるような環境をつくります

● 人材育成

「お客さまに信頼される人材」を計画的に育成するため、全社員を対象にコカ・コーラウエストグループ“Wing”Collegeを各階層別に展開しています。2008年は、計343名が受講し、マーケティング、ロジカルシンキング等と同時に社会貢献・環境推進に関連した課題も取り入れています。

■社員と会社の強い信頼関係(イメージ図)



● ポジティブアクション

ポジティブアクションの一環として、コカ・コーラウエストグループで活躍する女性社員を紹介するため、2006年から社内報で特集記事として毎月掲載しています。また、2008年は約600名の管理職を対象にポジティブアクション研修を実施しました。



● ワークライフバランス

コカ・コーラウエストグループでは、2008年に男性が初めて育児休業を取得し、社内での認知度も高まりました。今後も、社員の多様な生活様式や価値観を受け入れる仕組みづくりを推進し、社員一人ひとりのワークライフバランス(仕事と私生活の両立)を支援していきます。



上司や同僚の応援が家族の力になりました

近畿コカ・コーラグループユニオン 谷知 雅文

第二子誕生時に、共働きの妻と交代で1ヵ月間の育児休業を取得しました。いざ朝から晩まで子どもと向き合ってみると悪戦苦闘の連続でしたが、価値観やもの見方が大きく変わり、とても貴重な時間となりました。上司や同僚が快く応援してくれたことが取得の大きな後押しとなり、今でも非常に感謝しています。

株主・投資家のみなさまとともに

株主・投資家のみなさまに、必要な情報を適時、公正、継続的に開示を行い、積極的なコミュニケーション活動を行っています。

情報開示の基本方針

当社は「飲料ビジネスの未来を創造する企業」として、広く社会から信頼されることを目指し、株主・投資家のみなさまをはじめとする国内外におけるあらゆるステークホルダーのみなさまが当社を正しく理解できるよう情報開示の充実に努めます。金融商品取引法および金融商品取引所の定める適時開示規則に準拠した情報の開示を行うほか、適時性、公平性、継続性を基本に、当社の理解のために有効と思われる情報の開示に努めます。

●アナリスト・機関投資家のみなさまとの取組み

アナリスト・機関投資家向けの広報活動として、四半期ごとの経営トップによる決算説明会に加え、個別のIRミーティングを実施しています。2008年は当社への関心・理解を深めていただく機会として、マーケット視察およびご要望の多かったテーマを選び、今後の戦略についての説明会を行いました。

●株主のみなさまとの取組み

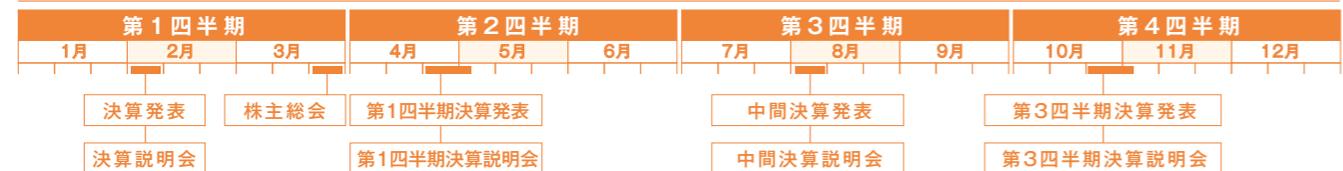
株主総会にご出席いただけない方のため、株主総会の様子をインターネットにて動画配信しています。

●個人投資家さまとの取組み

当社について、さらに知っていただくために会社説明会を開催しています。2008年は当社が事業活動を行っている全府県(16回)で説明会を実施しました。



●株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション



●ホームページによる情報開示

ホームページでは、経営計画や財務情報などをご覧いただけます。また、ご登録いただいた方へIR情報サイトの更新や決算発表、ニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。

登録はこちらから

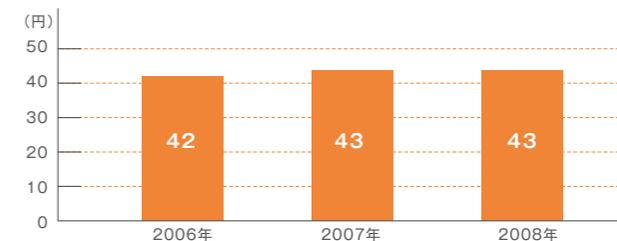
<http://www.ccwest.co.jp/ir/newsmail/index.php>



●配当金

当社は、株主のみなさまへ安定配当を継続することを基調とし、積極的な利益還元を実施することを基本方針としています。過去10年間においては、6回の増配を実施しています。

■1株当りの年間配当金



●株主優待制度

ご所有株式数に応じて「株主優待ポイント」を年2回贈呈します。株主優待ポイント(1ポイント60円相当)を利用してWebサイトまたは商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰め合わせセットや社会貢献活動への寄付などの商品と交換していただけます。

株主優待の内容	
ご所有株式数	優待内容
100株以上 500株未満	株主優待ポイント 30ポイント贈呈
500株以上 1,000株未満	株主優待ポイント 40ポイント贈呈
1,000株以上 5,000株未満	株主優待ポイント 60ポイント贈呈
5,000株以上	株主優待ポイント 120ポイント贈呈



コミュニケーションを大切にしています

執行役員 IR 部長 岡本 繁樹

出版物やホームページによる情報の開示だけでなく、当社をより理解の上、ファンとなっていたいただけるよう積極的に双方向性のコミュニケーションをはかっていきます。



人も環境も、さわやかに。

環境基本理念・行動指針

コカ・コーラウエストグループでは、環境に配慮した活動のよりどころとなる「環境基本理念」と「行動指針」を制定しています。

私たちの環境基本理念

コカ・コーラウエストグループは、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献します。地域社会から信頼される企業として、社員一人ひとりと会社が一体となった取組みにより、環境保全活動を持続的に推進します。

私たちの行動指針

1. 事業活動のさまざまな場面で環境に配慮し、環境リスクへの予防手段を優先します。
2. 日常業務の中で、環境負荷削減を目標とするシステムを運用し、その継続的な改善に努めます。
3. 水の有効活用、エネルギー使用の効率化、廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
4. 適用される法規制、協定、必要に応じて設定する自主基準等を順守します。
5. 地域社会に貢献し、次世代に成果の残る活動を展開します。
6. 社員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に取り組めます。
7. ステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、良き企業市民として行動します。

環境マネジメント

環境負荷削減を目標とするシステムの運用と継続的な改善を行動指針のひとつに定めています。この行動指針に基づいた具体的な取組みをご紹介します。

● 環境マネジメントシステム

● ISO14001 認証取得

近畿コカ・コーラボトリング(株)、三笠コカ・コーラボトリング(株)では、2008年に全事業所で環境管理の国際規格であるISO14001認証を取得しました。すでに認証を取得しているコカ・コーラウエストジャパン(株)との合併に伴い2009年12月までにコカ・コーラウエスト(株)としてあらためて認証を取得するとともにコカ・コーラウエストグループ全事業所にて認証取得を目指し取組んでいきます。



近畿ISO14001認証登録証

三笠ISO14001認証登録証

● 環境法規制順守

常に最新の環境法規制と照合し、漏れのないように対応を強化するとともに必要に応じて法規制より厳しい自主基準等を設定し順守していきます。

● 環境教育

コカ・コーラウエストグループの環境への取組みを環境教育ツールにまとめ、全社員の環境意識の浸透、環境知識の習得に活用しています。また、さまざまな部門の社員が、常に自らの業務において環境視点を持ち、ステークホルダーとのコミュニケーションをはかるために専門の環境研修を実施しています。

● 環境表彰制度

地球温暖化、省資源・省エネルギー、リサイクル、自然環境保全などをテーマとした環境ポスター募集を実施し、2008年は2,092点の応募がありました。審査により優秀作品を選び表彰を行うとともにカレンダーや環境啓発ポスターを制作し、年間を通じて全事業所に掲示しています。

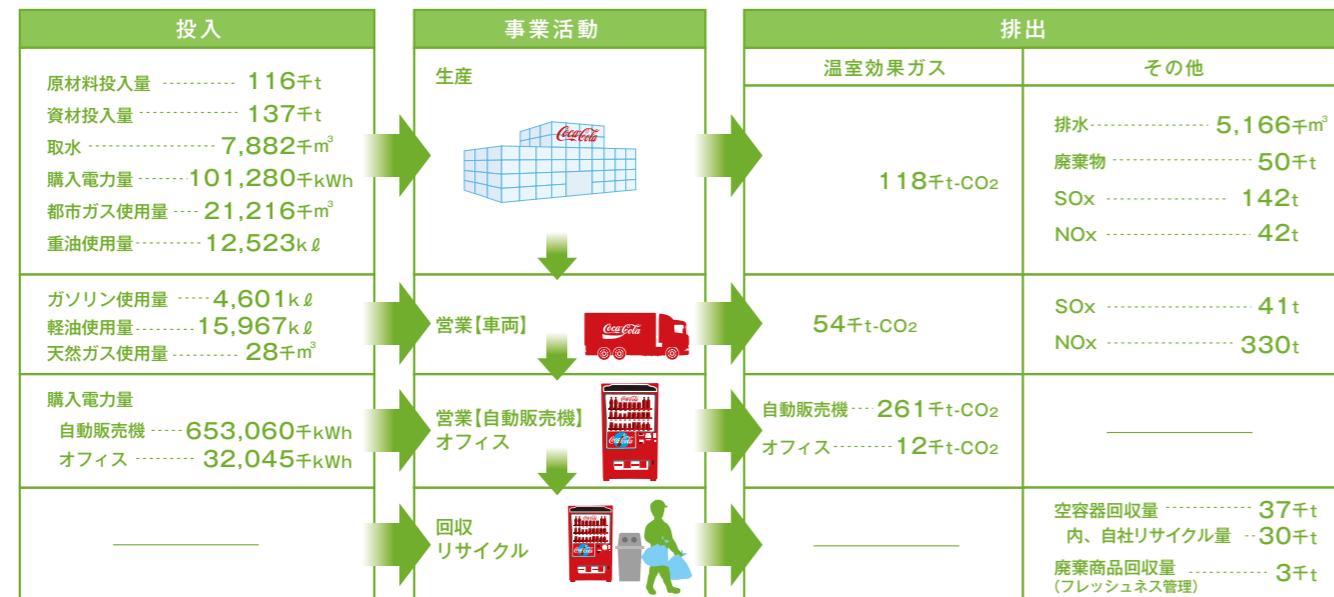


環境大賞受賞作品

環境負荷

生産からリサイクルまでの事業活動において発生するさまざまな環境への影響を把握し、対策活動につなげています。

2008年



■環境負荷指標算定基準

環境負荷指標		単位	算定方法
投入	原材料投入量	千t	生産活動に伴う原液・コーヒー・ミルク類の年間投入量
	資材投入量	千t	生産活動に伴う梱包資材の年間投入量
	取水	千m ³	生産活動に伴う上水・井水・工業用水年間使用量
排出	温室効果ガス (CO ₂) 排出量	燃料	各燃料年間使用量 × CO ₂ 排出係数 各燃料のCO ₂ 排出係数 ●A重油:2.710t-CO ₂ /kℓ ●ガソリン:2.322t-CO ₂ /kℓ ●軽油:2.624t-CO ₂ /kℓ ●都市ガス:2.108t-CO ₂ /千Nm ³
		電力	年間購入電力量 × CO ₂ 排出係数 CO ₂ 排出係数は、自らの削減努力を明瞭に表現できるよう温室効果ガス削減計画において使用された2004年地域別CO ₂ 排出係数を全ての年の計算に使用
	廃棄物	千t	生産活動に伴う廃棄物で、有価物含む
	廃棄商品回収量	千t	フレッシュネス管理などによる市場からの商品回収に伴う廃棄物で、排水処理される量を含む
	空容器回収量・リサイクル量	千t	空容器回収量は、実際の回収量から水分を除いた量 リサイクル量は、回収量から残渣を除いて再資源化された量

化学物質について、「特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律」に基づく届出対象化学物質の取扱いはありませんでした。

環境会計

環境経営を効率的に遂行するため全グループを対象とした環境会計を実施しています。

2008年

活動区分	環境保全コスト【百万円】		経済効果【百万円】	明細表参照ページ
	投資額	費用額		
 地球温暖化対策	24	73	83	32ページ
 廃棄物管理・リサイクル	253	1,903	592	33ページ
 水資源リスク管理	296	829	79	35ページ
 地域環境推進活動	0	195	0	—
 環境マネジメント	0	211	0	—
合計	573	3,211	754	—

明細表には、活動区分ごとに環境保全コスト(投資額・費用額)、経済効果、CO₂削減効果を記入しています。

■環境会計指標算定基準

環境会計指標	単位	算定方法
環境保全コスト	百万円	【投資額】 ●環境保全に貢献する設備の財務会計上の投資額
		【費用額】 ●環境保全に貢献する設備の財務会計上の減価償却費 ●環境保全に貢献する設備の維持運営費 ●環境保全活動に関わる人件費 ●環境保全活動に関わる諸経費 複合コストについて：原則的には差額集計とするが、差額が明瞭に判別できない場合は、按分集計、簡便集計を行う
経済効果	百万円	環境保全活動に伴う収入額・節減額
CO ₂ 削減効果	千t-CO ₂	環境保全活動を実施しなかった場合と比較したCO ₂ 削減量

地球温暖化対策

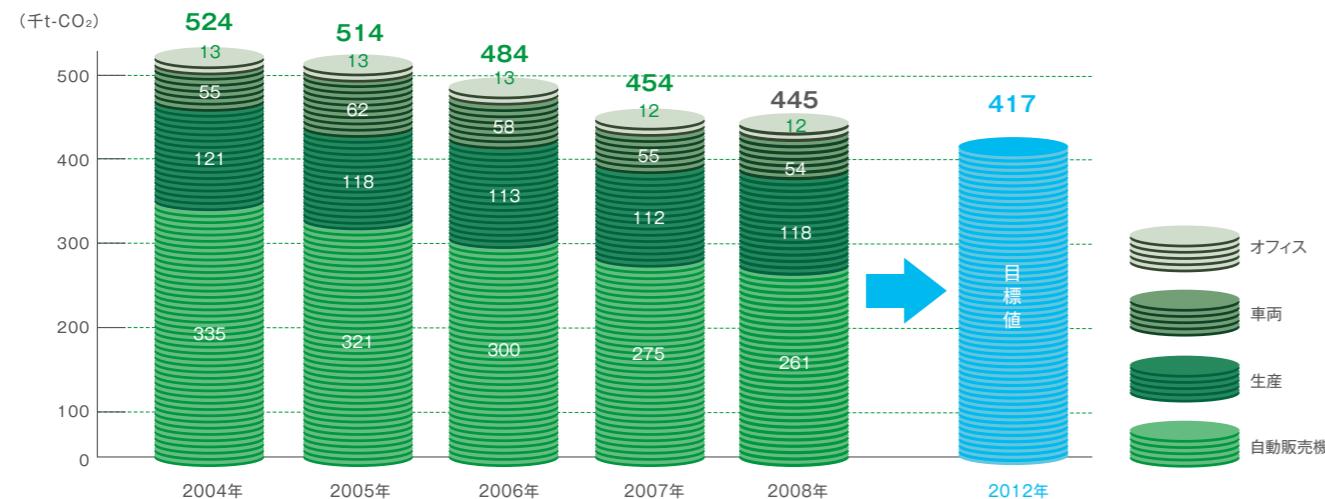
地球の未来のため、私たちはグループ全体で目標を立て、会社と社員が一体となって温室効果ガス削減活動に取り組んでいます。

●コカ・コーラウエストグループ温室効果ガス削減計画

コカ・コーラウエストグループは、2012年時点で2004年比温室効果ガス排出量を総量で20%削減する目標を策定しました。昨今、ますます重要性を増しつつある地球温暖化防止に向け、目標達成のために全社員が一丸となって意識を高め推進してまいります。

2008年のコカ・コーラウエストグループ全体の温室効果ガス排出量は、前年よりも削減が進み前年比2%減、2004年比では15%減の445千トンとなりました。

■温室効果ガス排出量の実績推移と目標値



●【取組み状況】生産部門

生産段階において発生する温室効果ガスの削減につながる取組みとして、天然ガスへの燃料転換を進めています。これまでに京都工場、明石工場、鳥栖工場、基山工場に導入済み、2008年には本郷工場にも導入しました。これにより、SOx(硫黄酸化物)の発生を抑止し、CO₂排出量を大幅に削減しています。また、コージェネレーションシステムも本郷工場と鳥栖工場に導入済みです。



天然ガスボイラー



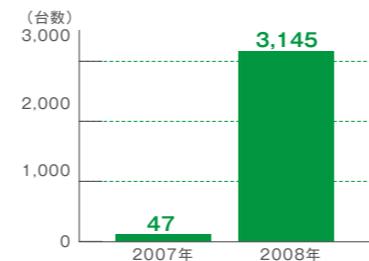
コージェネレーションシステム

コージェネレーションシステム：ボイラーなどで発電し、発電時の排熱で温水や蒸気を作り、電気と熱を同時に供給するシステム

●【取組み状況】自動販売機部門

夏場の電力消費ピーク時に電気の使用をカットする「ピークカット機能」や冷却効率が高いエコベンダーを積極的に導入しています。これまでも省エネ型自動販売機への切り替えを進めていましたが、2007年よりさらに省エネ性能を向上させたヒートポンプ方式ノンフロン型自動販売機を導入し、2008年末では累計3,145台となっています。

■ヒートポンプ方式ノンフロン型自動販売機設置台数の推移



ヒートポンプ方式：加温時の電気ヒーターの代わりに冷却時に発生した熱を利用し、効率的に暖める仕組み



省エネノンフロン・キャッシュレス自動販売機 E-40 [イーフォーティ]

- ノンフロン
- ヒートポンプ
- LED照明

LED：白熱灯や蛍光灯に比べ長寿命で消費電力が少ない照明

●【取組み状況】車両部門

ふんわりアクセルeスタート、経済速度運行、減速時の早めのアクセルオフ、アイドリングストップなどのエコドライブを徹底しています。運転状況の解析・チェックを行うため、大型全車両221台に「デジタルタコメーター」を、支店の配送車両には187台に「セーフティチャレンジャー」を搭載し、安全運転にもつなげています。また、積載率の向上による運行車両台数の削減にも取り組んでいます。

さらに、エコカーの導入も積極的に推進しており、2008年にはハイブリッド車32台を新たに導入しました。

■エコカー導入台数の推移(天然ガス車、ハイブリッド車)



天然ガス車



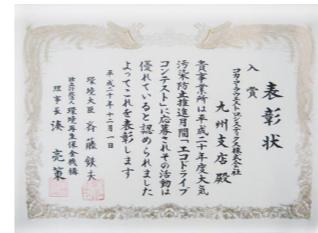
デジタルタコメーター



運行データ解析・チェック

●エコドライブコンテストで入賞

全国で1,468事業所が参加した平成20年度環境省・環境再生保全機構主催エコドライブコンテストにおいて、入賞枠35事業所の中にコカ・コーラウエストロジスティクス(株)九州支店が入賞しました。



●【取組み状況】オフィス部門

コカ・コーラウエストグループでは地球温暖化防止への取組みとして「チーム・マイナス6%」に参加し、クールビズなどの推進と、オフィスにおける日常的なエネルギー管理活動を行っています。啓発ステッカーを事務所に配付し、こまめな消灯や空調温度設定を夏季28℃、冬季20℃にすることを徹底しています。



省エネ推進ステッカー

【環境会計明細表】地球温暖化対策

活動内容	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)	経済効果 (百万円)	CO ₂ 削減効果 (千t-CO ₂)
コージェネレーションシステム導入 天然ガス化	0	22	51	24
エネルギー監視システム	0	18	0	
省エネルギー型照明	0	4	16	
エコカー導入	24	21	7	
その他の活動	0	8	9	
合計	24	73	83	

循環型社会の実現

生産活動により発生する廃棄物のゼロエミッションや回収した空容器のリサイクル活動に取り組んでいます。

●工場ゼロエミッション

すべての工場では、生産段階でのリサイクルを推進しています。廃棄物のリサイクル率は2008年も99.9%を維持しており、ゼロエミッション(全廃棄物のリサイクル率99%以上)を達成しています。リサイクルされた廃棄物はさまざまな用途で再利用されています。

■廃棄物発生量とリサイクル率の推移



■廃棄物発生量



■廃棄物発生量とリサイクル率

種類	発生量	リサイクル率	再生利用用途
コーヒーかす・茶かす	43,001t	100.00%	有機肥料
汚泥	4,329t	100.00%	
金属類	324t	99.89%	再生鋼材 アルミ缶
ガラス類	405t	100.00%	再生カレット
廃プラスチック類	905t	99.10%	再生プラスチック 燃料
紙類	1,059t	99.64%	段ボール 再生紙
その他	408t	98.76%	路盤材など
合計	50,431t	99.97%	

リサイクル率 **99.97%** ゼロエミッション達成

【環境会計明細表】 廃棄物管理・リサイクル

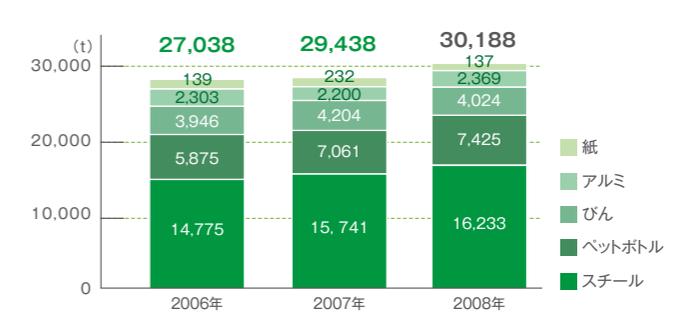
活動内容	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)	経済効果 (百万円)
工場廃棄物処理	0	573	146
自社リサイクルセンター運営	253	482	237
空容器回収委託	0	674	6
廃棄自動販売機処理委託	0	174	203
合計	253	1,903	592

●空容器リサイクル

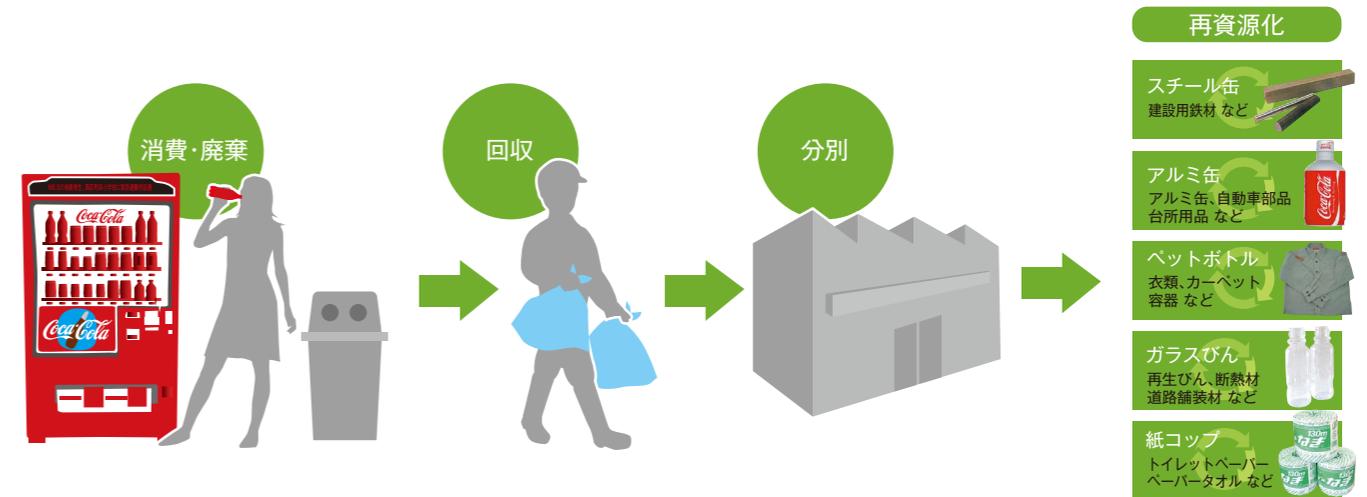
循環型社会の実現に向け飲料メーカーの責務として、事業活動を通じて限りある資源の有効活用をはかるために、自動販売機横の回収ボックスに投入された空容器を各支店で回収し、2008年は30,188トンの再資源化量となりました。

さらに、2003年11月には、自社で北九州エコタウン(北九州市若松区響町)内に「空容器リサイクルセンター」を稼働させ、事業所で回収した空容器をスチール、アルミ、ペットボトル、びんに分別し、2008年は約5,700トンの空容器を再資源化しました。

■再資源化量



■空容器リサイクルフロー



水資源リスク管理

コカ・コーラウエストグループの工場で使用する水は、可能な限り再利用するとともに、排水処理管理を徹底しています。

●工場の回収水利用・排水管理

工場では生産工程において多くの水を使用しますが、一度使用した水も回収して浄化処理を施し、冷却水などに再利用しています。また、一般河川や下水道へ排水する場合も、排水処理機能を徹底させて、安全な水質とした上で河川放流などを行っています。この際、法規制よりも厳しい自主基準を設けて、各工場徹底しています。

■工場での水処理フロー

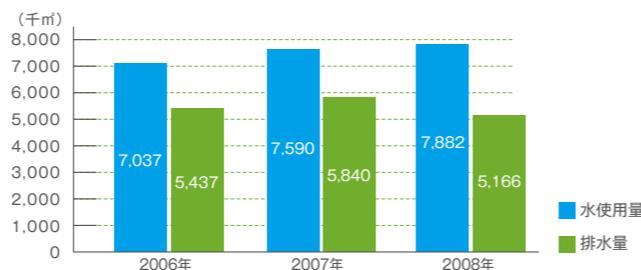


■水質測定結果

工場名	放流先	測定項目	規制値 [mg/ℓ]	実績値 (最大値) [mg/ℓ]
滋賀工場	一般河川	COD	20	16
		BOD	20	13
京都工場	一般河川	COD	25	6
		BOD	25	8
明石工場	一般河川	COD	20	10
		BOD	20	4
本郷工場	一般河川	COD	50	18
		BOD	29	8
鳥栖工場	一般河川	BOD	40	8
		BOD	30	15
基山工場	一般河川	COD	160	35
		BOD	160	6

※COD: 化学的酸素要求量 BOD: 生物化学的酸素要求量
※規制値は、放流先によって異なります。

■水使用量及び排水量



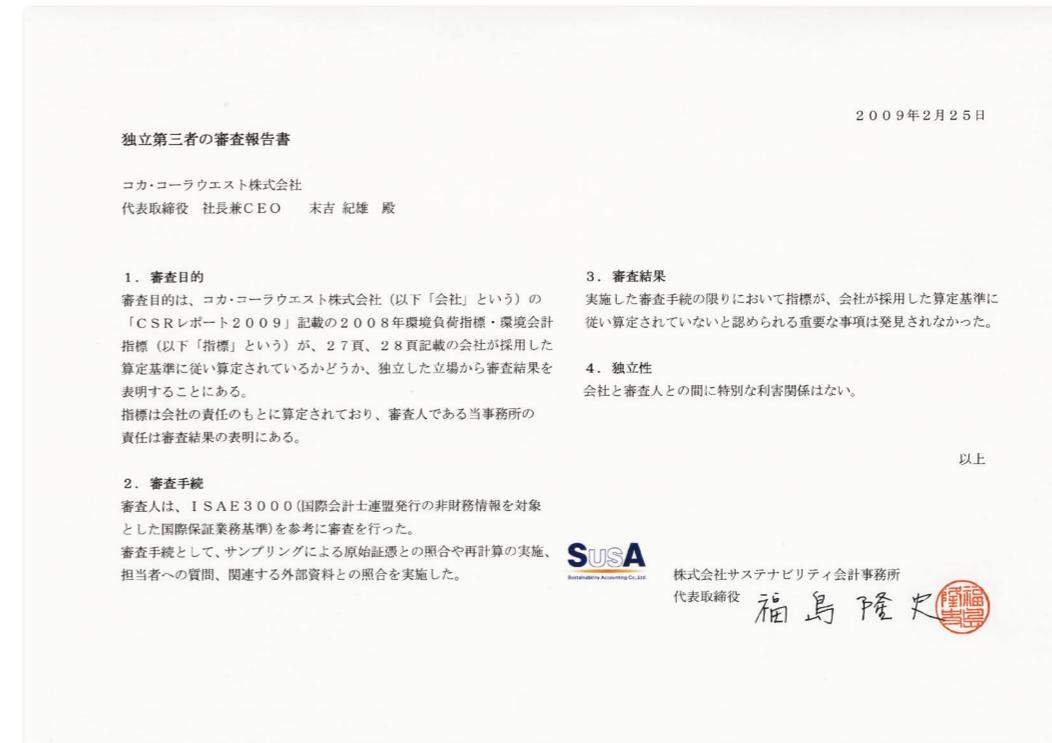
【環境会計明細表】水資源リスク管理

活動内容	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)	経済効果 (百万円)
回収水利用	0	68	79
排水処理	296	761	0
合計	296	829	79

第三者審査

環境負荷と環境会計の算定について、第三者審査を受審しています。

●独立第三者の審査報告書



地域社会貢献活動

「社会福祉支援」「スポーツ活動支援」「文化・教育活動支援」「地域大型イベント支援」の4つの活動を柱に、青少年の健全育成の支援や地域とのより密接なコミュニケーションを進めています。

● 特別支援学校への教材贈呈

社会福祉支援活動の一環として、特別支援学校にパソコン・周辺機器などの情報機器を教材として贈呈し、子どもたちの社会自立支援を行っています。2008年は20校に教材を贈呈しました。



● さわやかラグビークリニック

コカ・コーラウエストレッドスパークスラグビー部員が、高校生を対象にラグビーの基本技術を指導し、青少年の健全育成を支援しています。2008年は福岡県と大阪府で開催し、約400名がラグビークリニックに参加しました。



● さわやかクラシックコンサート

文化・教育活動支援の一環として、地域のみなさまに質の高いクラシック音楽を楽しんでいただくコンサートを開催しています。2008年は6カ所で開催され新イタリア合奏団などの迫力ある演奏を堪能していただきました。



● 小学校への一輪車贈呈

スポーツ活動支援の一環として、文化科学省が学習指導要領に取り入れている一輪車を教材として小学校に贈呈し、子どもたちの健全育成を支援しています。2008年は200校に一輪車2,000台を贈呈しました。



● さわやかファミリーミュージカル

文化・教育活動支援の一環として、子どもと保護者を招待しミュージカルを開催しています。2008年は5カ所で不朽の名作「シンデレラ物語」を題目に、迫力あふれる演技が披露され、会場はおどぎの世界に包まれました。



● 市村自然塾九州

文化・教育活動の一環として、小学校4年生から中学校2年生までの男女各30名を対象に、約9か月間共同生活を基盤においた農作・自然体験活動を通じ、生きる力を大地から学びました。



地域環境推進活動

地域の人々への環境教育支援のほか、地域緑化、美化などさまざまな地域環境推進活動に取り組んでいます。

● 学校ビオトープづくり支援

自然環境の素晴らしさや大切さを学ぶことを目的としています。子どもたちが自ら考えた設計図をもとに、先生や保護者や地域の人たちと一緒に生き物が生息できる場所を半年かけて手づくりで完成させます。2008年は15校で実施、累計64校となっています。



● コカ・コーラエコロジースクール

小学校高学年を対象に、自然環境とのふれあいを通じて、子どもたちの豊かな感性や環境保全意識を育むことを目的としています。2008年は1泊2日のプログラムに170名が参加し、学校では経験できないような環境体験学習を行いました。



● 学校植林支援

「どんぐりの森をつくろう」をキャッチフレーズに、子どもたちに苗木の里親になってもらい、自分たちの手で苗木を生育させ、山に植樹します。2008年は930名の子どもたちが参加し、自分たちの手で育てた苗木が自然の中でたくましく育ち、地球温暖化防止につながることを願い植樹しました。



● 地域美化活動

コカ・コーラウエストグループでは月1回、事業所周辺の道路・公共場所の清掃活動を実施しています。また、自治体と一体となって地域で開催されるクリーンアップ活動にも積極的に参加し、地域社会と歩む企業として感謝の気持ちを込め、地域美化に貢献しています。



地域社会貢献積立金

地域への社会貢献を積極的に推進するため、毎年、利益剰余金処分時に「地域社会貢献積立金」として3億円を積み立てています。積立金は「小学校への一輪車贈呈」「さわやかクラシックコンサート」などにおける資金に使用しています。

地域環境対策積立金

環境保全を積極的に推進するため、毎年、利益剰余金処分時に「地域環境対策積立金」として1.5億円を積み立てています。積立金は「学校ビオトープづくり支援」「コカ・コーラエコロジースクール」などにおける資金に使用しています。

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストグループ



本報告書はFSC認証林および管理された森林からの用紙と大豆油インキを使用しております。
また、印刷時に有害な廃液が出ない「水無し方式」で印刷されています。